

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 01 資源循環型社会の形成

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	ごみ総排出量 (t)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		【環境課】	24,805	24,805	25,957	23,500
評価	前年度に比べ、実績値が1,152t増加した。これは、家庭系・事業系ごみのいずれも増加しており、特に事業系ごみに関しては、資源化施設の受入中止等の理由により、事業所等から排出される剪定枝・草や食品廃棄物の資源化量が減少し、可燃ごみとしての処分量が増加したことが大きく影響していると考えられる。					対前年度
						☂ (低下)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 発生抑制の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市民一人一日あたりのごみ総量 (g) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		820	820	853	777	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値が33g増加した。これは、家庭系・事業系ごみのいずれも増加しており、特に事業系ごみに関しては、資源化施設の受入中止等の理由により、事業所等から排出される剪定枝・草や食品廃棄物の資源化量が減少し、可燃ごみとしての処分量が増加したことが大きく影響していると考えられる。					対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■ ■ (中)

基本事業01 発生抑制の推進

指標	発生抑制 (リデュース) に取り組んでいる市民の割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		93.2	93.2	94.5	94	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1.3ポイント増加した。マイバック持参が浸透したことや、容器を廃棄することなく詰め替えできる商品が増えていること、食品ロスに対する問題意識の高まりなども影響していると思われる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 資源化の推進

指標	資源化率 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		27.5	27.5	26.3	32	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値が1.2ポイント減少した。これは、古紙をはじめとする資源ごみの回収実績が減っていることが要因と考えられる。					対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■ ■ (中)

基本事業02 資源化の推進

指標	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		23.6	23.6	22.9	23.1	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値が0.7ポイント減少した。これは、3キリ運動や雑がみ分別の啓発により、市民のごみ分別意識が高まっているためであると考えられる。					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 再使用の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	リサイクル広場におけるリユース件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	568	568	530	400	☂ (低下)
評価	前年度の実績を38件下回ったが、令和5年度の目標値は上回っている。新型コロナウイルス感染症対策のため、3月4日からリサイクル広場におけるリユース品の受け渡しを中止し、件数が減ったことも影響している。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

基本事業03 再使用の推進

指標	再使用している市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	40.2	40.2	40.1	42	☁ (横ばい)
評価	前年度に比べ、実績値が0.1ポイント減少した。成果としては、ほぼ現状維持だが、リユースショップやインターネットにより幅広く再使用品が入手できる状況である。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■■■ (高)

基本事業04 ごみ収集処理体制の整備

指標	ごみ残置シール貼付数（枚）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	2,895	2,895	4,439	2,800	☂ (低下)
評価	（状況）前年度より大幅に増えるとともに、目標値をも上回っている。 （原因）分別収集を一層推進するため、シュレッダーごみを古紙類として、可燃ごみで収集しないこととし、すべてシールを貼り付けて残置した。また、古着類も可燃ごみで出されている場合シール貼り付けの上、古紙・古着類の収集に出すように促すようにしたため、シール貼り付け枚数が大幅に増えることになった。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■■ (低)

基本事業04 ごみ収集処理体制の整備

指標	ごみ収集に関する不具合・事故件数（件数）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	10	10	4	9	☀ (向上)
評価	（状況）事故0件、故障等のトラブル4件で昨年度より減少となった。 （原因）朝礼時に、清掃職員内で注意事項の喚起を行うなど、常に安全で事故のない収集作業に努めてきた結果といえる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)